

新刊紹介

●一般書 ○児童書



- 「クジラアタマの王様」/伊坂幸太郎(著)／NHK出版
- 「助けて」が言えない/松本俊彦(編)／日本評論社
- へぼ侍/坂上 泉(著)／文藝春秋



- 「ぼくらののら犬砦」/宗田 理(作)／ポプラ社
- 「おかあさんありがとう」/みやにし たつや(作・絵)／金の星社
- 「プラスチック・プラネット」/ジョージア・アムソン=ブラッドショー(作)／大山 泉(訳)／評論社

高齢者にすすめる本展

期間 9月1日(日)～15日(日)まで
1階カウンター前にて展示・貸出し

認知症に関する本展

期間 9月17日(火)～22日(日)まで

令和元年度枕崎市読書感想文コンクール作品募集

募集期間 9月10日(火)～10月10日(木)まで

第161回芥川賞・直木賞受賞作品

芥川賞

むらさきのスカートの女

今村 夏子(著)

直木賞

うず いも せやま おんな ていきんたま むす 渦 姉背山婦女庭訓魂結び

大島 真寿美(著)

※貸し出しています。

音訳ボランティア「ひだまり」会員募集!

ボランティアに興味のある方、お時間に余裕のある方、音訳ボランティアに参加してみませんか？

主な活動内容は、市内の視覚に障がいがある方に向けての「広報まくらざき」の録音作業です。

詳しくは市立図書館までお問合せください。



市立図書館 72-9254

ホームページ
<http://city.makurazaki.lg.jp/site/library/>

★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 9月10日～10月9日

日	月	火	水	木	金	土
		10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9			

休館日

おはなしのへや 午後3時～
(絵本と紙芝居の読み聞かせ)



- 時間 20～30分ほど
- 場所 市立図書館1階子育て支援コーナー
- 内容 親子を対象に市立図書館職員が読み聞かせをします。



今月の担当は

りつか隊員です!



こんにちは、篠塚立夏です。

まだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。令和最初の夏。私にとって鹿児島で過ごす初めての夏。日焼けを恐れず思いきり満喫しています！

地域おこし協力隊活動レポート

協力隊が行く！

「広告としてのSNS講習会を開きました

7月に観光協会の会員向けにSNS講習会を開きました。使い

方は人それぞれ、好きなようにアップを目指した広告としての活用方法をご提案させていたしました。内容としては、「目

識すること」などを伝えました。当日は30名ほどの方にお集まりいただきことができ、本当に感謝です。少しでも枕崎の経済活性につながれば幸いです。

このような講習会を開く運びとなりました。

素养らしい素材をたくさん持っている枕崎。もっともっと多くの人にその魅力を伝えていき

たいと心から思っています。私

人ではまだまだ微力ではあります、どんな形であれSNSに限らず、まちの人々が一体となつて発信をしていけば、さらに存在感を發揮できるはずです。

枕崎の美味しいもの、景色、イベ

ント、がんばっている人々など、

なんなことでも構いません。一緒に枕崎のよかもんを伝えていきませんか。

一大イベント「きばらん海」を終えて

ついに、今年のきばらん海が終わりました。私にとっては初めてのきばらん海。人の多さに驚き、地元のみなさんによる踊り連や三尺玉花火の力強さと雅びさに圧倒され、目まぐるしく駆け抜けられた2日間でした。ある人から市内に点在する「きばらん海」と書かれた看板がすべての伏線でありたかのようにも感じました。大勢の人々を魅了する伝統的なまつりが枕崎にあることを、とても誇りに思います。

実行委員会の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして貴重な経験をありがとうございました。

⑬第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)なぎなた競技会出場選手が決定

た競技会に出場する鹿児島県代表選手は次のとおりです(敬称略、カッコ内は所属)。

【少年女子・演技競技】秋葉笑里(川辺高校)、上牧千笑(同)

【少年女子・試合競技】秋葉笑里(川辺高校)、上牧千笑(同)、村田凜(同)

【成年女子・演技競技】田口真耶(鹿屋体育大学)、丸野麗那(福岡大学)【成年女子・試合競技】田口真耶(鹿屋体育大学)、上村悠衣(国際武道大学)、丸野麗那(福岡大学)

市民の皆さんの応援をよろしくお願いします。

■問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170



燃ゆる感動かごしま国体

第75回国民体育大会 热い鼓動 風は南から 2020

8月18日、佐賀県嬉野市中央体育館で、令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会なぎなた競技が行われました。九州各県の少年女子代表が、9月に開催される「第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)なぎなた競技会」の試合競技出場を目指して、熱戦を繰り広げました。

演技競技及び成年女子試合競技は47都道府県が出場できますが、少年女子試合競技へは、各地区のブロック予選を勝ち抜いた、32都道府県が国体へ出場することができます。九州ブロックからは上位5チームが国体に出場できることとなっており、総当たり戦で行われた競技の結果、鹿児島県は3位となり、茨城国体への出場権を獲得しました。また、成年女子については、6月9日に枕崎市立総合体育館で行われた県予選会で、演技競技と試合競技の代表3名が選出されました。

第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)なぎな

このコラムの限られた紙面ではなかなか伝えきれませんが、枕崎市地方創生総合戦略はわれわれ市の核となる仕事となりますので考え方や進捗など、このコラムでも機会を作つて書いていきたいと思います。

このコラムの限られた紙面ではなかなか伝えきれませんが、行政はもちろんですが、行政だけでなく市民、事業者、各団体など多様な力を結集して課題解決に取り組んでいくことを重要視してすすめてまいります。

市長コラム vol.6

地方創生総合戦略



「消滅可能性都市」。これは、2014年5月に政府の政策提言機関である「日本創生会議」が発表したセンセーショナルな未来を想像させるショッキングな言葉だったと記憶しています。国はその対策として、その年の11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、12月には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、人口減少、東京一極集中への是正に取り組みはじめました。枕崎市も2015年から2019年度の5年間を計画年度とする「枕崎市地方創生総合戦略」を策定しました。

この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は国の一つの人口対策だったわけですが、この5年間は東京への若者の流出に歯止めがかからない状況です。本市もその状況は変わらず、人口減少は進行しています。市ではこれから半年かけて、この5年間の枕崎市地方創生総合戦略について結果を真摯にとらえ、しっかりと振り返り、次の5年間へ向けた新たな戦略立案に取り組んでまいります。次期戦略の立案に当たっては、まず市民一人一人に寄り添える自治体独自の価値を形成・強化し、市民に選ばれる自治体になること、そしてさまざまな地域課題に対しても多様な力を結集して課題解決に取り組んでいくことを重要視してすすめてまいります。

このコラムの限られた紙面ではなかなか伝えきれませんが、行政はもちろんですが、行政だけでなく市民、事業者、各団体など多様な力を結集して課題解決に取り組んでいくことを重要視してすすめてまいります。